

会報

ジョン万ニュース

VOL. 21



第4回 土佐清水ジョン万祭り を開催しました！



土佐清水ジョン万祭り実行委員会（土佐清水市姉妹都市友好協会、土佐清水商工会議所、土佐清水市観光協会、土佐清水市などで組織）は、第4回目となる「土佐清水ジョン万祭り」を「万次郎、海と交流」をテーマに10月27日、あしずり港ジョン万群像前広場をメイン会場として開催しました。

今回、初の試みとして前夜祭「ハロウィン仮装パレード」も開催しました。出発場所となった中央公園には魔女やお化けなど、仮装した子ども達がぞくぞくと集まり、皆で『トリック・オア・トリート』（お菓子をくれなきゃ、いたずらするぞ！）と言いながら、お菓子を受け取りつつ翌日のジョン万祭りもPRし、元気よく商店街を練り歩きました。沿道は子ども達の可愛い姿を一目見ようと多くの人で賑わい、清水の街はハロウィン一色に染まりました。

祭り当日は、雨模様のお天気となってしまいましたが、午前11時からの開催セレモニーでは、ジョン万次郎の五代目子孫にあたる中濱京さんをはじめとして、米国からホイトフィールド・万次郎友好協会会長のジェラルド・ルーニーさん、文子さんご夫妻、グレゴリー・ケイ駐大阪・神戸米国領事、沖縄県豊見城市から沖縄ジョン万次郎会の皆さまほか、ジョン万次郎に関わる多くの方々にご参加いただき、盛大に開催することができました。

また、土佐清水市と米国フェアヘブーン、ニューベッドフォードが姉妹都市を結び、今年の12月で25周年を迎えることから、これまでの四半世紀に及ぶ友好、交流の歴史をよろこびあうとともに、これからの更なる友情を祈念して、お互いの市旗の交換贈呈も行われました。

開催セレモニー終了後は、お天気の関係により一部変更等があったものの、ハロウィン仮装コンテストやジョン万かるた取り大会、清水高校生による短期留学の展示発表、茶道部のお茶会、音楽部・書道部によるコラボパフォーマンスなどのイベントが行われ、多くの家族連れなどで賑わいました。フィナーレは、いなん、シミズダンススタジオの皆さんによる、よさこい踊りやダンスが披露され、会場は雨雲を吹き飛ばすくらいの熱気に包まれました。

さらに、午後5時から「海の駅あしずり」で夜のオープンカフェやステージイベントを開催したほか、午後6時からは「みんぼう」で交流レセプションも行いました。交流レセプションへは、市内はもちろん、市外からもジョン万ファンの方が参加され、和やかな雰囲気の中情報交換や交流を楽しみました。余興で豊見城市文化協会の皆さんによる琉球舞踊が披露されると、その華麗な琉舞に参加者は魅了され、ひととき沖縄の伝統芸能に酔いしれました。また、沖縄伝統のカチャーシーを三線、笛の音色に合わせ会場が一体となり歌い踊るなど、笑顔あふれる交流会となり、大いに盛り上がりました。

ジョン万次郎とホイトフィールド船長との縁により、現在まで脈々と受け継がれてきた友好の絆は、これからも大切な宝物として引き継がれていくことでしょう。海を越え、国を越え、多くのあたたかい友情が育まれ、さらに友好の輪が大きく深く広がっていくことを期待してやみません。

田中裕美さん 市民表彰受賞おめでとうございます！



杉村市長から表彰を受ける田中さん

ウェルカムジョン万の会会長の田中裕美さんが、11月3日、平成24年度土佐清水市市民表彰「功労表彰」を受賞されました。

田中さんは、平成2年「ウェルカムジョン万の会」を設立し、現在に至るまでジョン万スピリットを子どもたちや市内外に伝えるとともに、国際交流、地域振興などの活動も精力的に行われています。これまでのご活躍が認められての受賞であると思います。心からお祝い申し上げます。

清水高校生 米国姉妹都市へ短期留学

清水高等学校と土佐清水市姉妹都市友好協会では、昭和63年度から米国姉妹都市派遣事業として生徒をマサチューセッツ州フェアヘブーン、ニューベッドフォードへ派遣しています。

今年も生徒5名と教師1名が7月27日から8月7日にかけて短期留学を行いました。生徒たちは7月27日、土佐清水市を出発し空路米国へ。28日から8月4日までの8日間、ホームステイ先の家族と生活を共にしながら異文化にふれ、英語レッスンを行うとともに、ジョン万次郎の足跡をたどり改めて日米の架け橋となった幾多の業績について認識を深めました。

元気に帰国した生徒たちは8月9日、市役所を訪れ「毎日が新鮮で良い経験ができた。これからの自分の将来につなげていきたい」「ホストファミリーがとても優しく接してくれた」「自分の英語力が確認できた。現地の方と接するなかで、英語能力を高めることができた」「ジョン万ゆかりの場所に行き、実際にみて、ふれて、すごく感動した」など、たくさんの素晴らしい体験を報告してくれました。

これまでとは全く違った異なる文化、生活のなかに身を置くことにより、国際感覚を磨くことはもちろん、日本にいる時には分からなかったこと、それぞれの国の良さ、人と人とのつながりの大切さ、あたたかさなど多くのことを学び、自身を大きく成長させてくれたようです。

今回の短期留学により得た多くの知識、体験、感動は、参加した生徒たちのこれからの人生において、かけがえのない財産となることでしょう。



米国にて



報告会の様子

姉妹都市スポーツ交流【夏】

～ 第25回 郵YOU杯少年野球大会 開催 ～

スポーツ交流事業として、豊見城市スポーツ少年団（総勢20名）の皆さんが8月3日から6日にかけて土佐清水市を訪れました。

この事業は、子どもたちが野球をとおして姉妹都市との交流を図り、親睦を深めることを目的に両市交互に春、夏と会場を移し行っているものです。

今年も「第25回郵YOU杯少年野球大会」（高知県西部郵便局長会土佐清水部会・土佐清水市少年野球連盟主催）が8月5日、下ノ加江運動広場、下ノ加江中学校のグラウンドを会場として開催され、豊見城市・土佐清水市合同チームから2チーム、土佐清水市の4チーム、三原村から1チームの計7チーム、総勢90名が参加しました。下ノ加江ファイターズ主将・中井洸鳳さんの選手宣誓により試合が開始され、熱い戦いがくり広げられました。

あいにく雨模様のお天気となってしまいましたが、グラウンドには、時折降ってくる雨に負けにくいぐらいの大きな声援、選手同士の声のかけあいが元気よく響き、各チームそれぞれに力を出しきりました。決勝戦は「豊見城ファイターズ」と「豊見城フレンズ」の対戦となりましたが、天候やグラウンドの状態により、試合を続けられる状態ではなくなったため、やむを得ず、チーム代表の“じゃんけん”により勝敗を決定することとなり、その結果「豊見城ファイターズ」がみごと優勝に輝きました！

また、前日の8月4日には、下ノ加江川で川遊びやスイカの早食い競争、水泳リレー、バーベキューなどを行い交流を深めるとともに、土佐清水市の自然を満喫しました。下ノ加江での交流を楽しんだあと、子どもたちは「あしずりまつり」の会場へ移動し、あしずり踊りや屋台村などを楽しみました。そして夜には身体が震えるほどの大きな音と、次々と打ち上げられ色とりどりの光で夜空を彩った9200発の花火に満面の笑みがこぼれました。

8月6日早朝「清水の夏」をおもいきり楽しんだ子どもたちは、それぞれの思いを胸に帰路につきました。短い期間でしたが土佐清水市の文化、自然にふれるなかで、子どもたちはお互いのことを理解し、交流を深め、新たな友情も生まれたようです。いろいろな思い出がギュッとつまった4日間。一人ひとりの心のなかのアルバムには楽しい“夏の思い出”が、また一つ大切にしまわれたのではないでしょうか…





前夜祭 ハロウィン仮装パレード



土佐清水ジョン万祭り



中濱家5代目 中濱京さん

ルーニー会長ご夫妻

駐大阪・神戸米国領事

豊見城市 沖縄ジョン万次郎会



市旗の交換贈呈



ハロウィン仮装コンテスト



ジョン万かるた取り大会



清水高校 音楽部・書道部コラボパフォーマンス



清水高校 短期留学の報告



清水高校 茶道部お茶会



交流レセプション 豊見城市文化協会の皆さん

